

プレベナー® 水性懸濁皮下注 「適切な接種時期」 についてのお願い

2012 年 4 月

ファイザー株式会社

小児用肺炎球菌結合型ワクチンであるプレベナー水性懸濁皮下注（接種対象：2 カ月齢以上 9 歳以下の間にある者）の標準接種は、以下のとおり「2～6 カ月齢」から開始し、初回免疫として 3 回の接種を、いずれも 27 日間以上の間隔をおいて行うとともに、初回免疫終了後（3 回接種後）の追加免疫投与については 60 日間以上の間隔を開けて投与します。この追加免疫は 1 回のみの接種となりますが、「12～15 カ月齢」の間に行うことになっています。

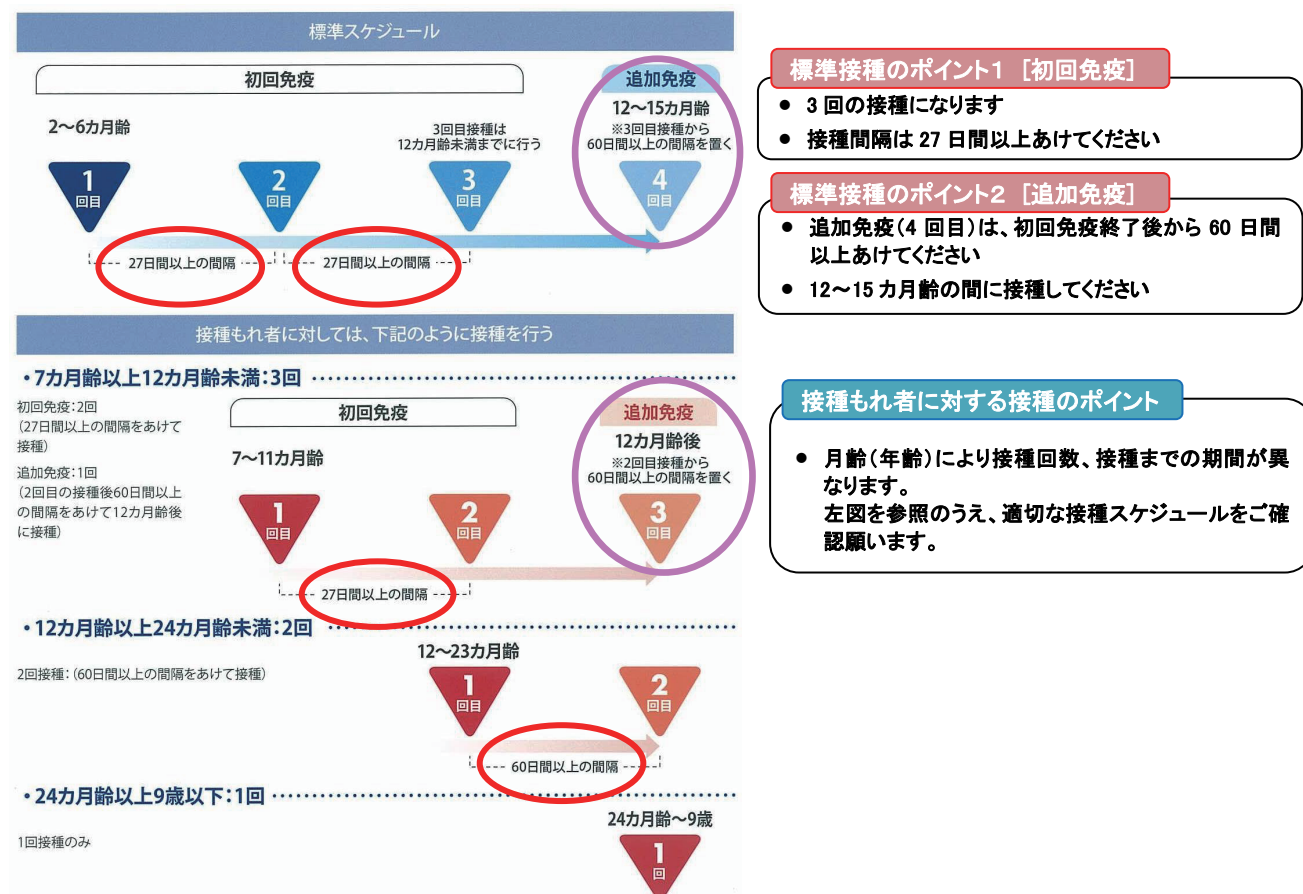
厚生労働省のワクチン接種緊急促進事業開始後、乳児期に接種可能なワクチンの数と回数の増加により、接種スケジュールが過密化してきたことで、接種間隔や時期の遵守がされていない例が散見されております。今一度、本剤の接種スケジュールを確認していただきたくお願い申し上げます。

侵襲性肺炎球菌感染症（髄膜炎・菌血症等）発症予防には、適切な時期に、適切な間隔をおいて、必要な回数を接種していただくことで、必要な抗体価を得ることができます。

保護者のみなさんへ適切な接種スケジュールをご理解いただけるよう、ご協力をお願い申し上げます。

◆プレベナー接種スケジュール

接種対象：2 カ月齢以上 9 歳以下 接種回数：標準 4 回(初回免疫 3 回、追加免疫 1 回)



◆日本小児科学会が推奨する予防接種スケジュール

日本小児科学会が推奨する予防接種スケジュール(2011年11月13日版)

ワクチン	種類	乳児期						幼児期					学童期						
		2か月	3か月	4か月	5か月	6-8か月	9-11か月	12か月	15か月	18か月	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳以上
インフルエンザ菌b型(ヒブ)	不活化	①	②	③					④										
肺炎球菌(PCV7)	不活化	①	②	③					④										
B型肝炎(HBV)(注1)	不活化	①	②			③													①②③(注2)
ロタウイルス	生	①	②				(注3)												
こちらが、プレベナー水性懸濁皮下注の接種スケジュールとなります																			
三種混合(DPT)																			
BCG																			
ポリオ	生				①				②				(7.5歳まで)						
麻しん、風しん(MR)	生								①					②					③④ 中1、高3での接種(注5)
水痘	生								①					② (注6)					
おたふくかぜ	生								①					② (注6)					
日本脳炎(注7)	不活化										① ②	③		(7.5歳まで)					④9~12歳 (①②③)
インフルエンザ	不活化																		13歳より①
二種混合(DT)	不活化																		11~12歳①
ヒトパピローマウイルス(HPV)	不活化																		①②③(注8)

こちらが、プレベナー水性懸濁皮下注の接種スケジュールとなります

定期接種の期間
任意接種の推奨期間
定期接種の接種可能な期間
任意接種の接種可能な期間
添付文書には記載されていないが、小児科学会として推奨する期間

お問い合わせ先：ファイザー株式会社 製品情報センター 学術情報ダイヤル：0120-664-467

〒151-8589 東京都渋谷区代々木 3-22-7 新宿文化クイントビル